

栃木県 看護連盟 だより



平成24年
9月20日発行
第49号

栃木県看護連盟は全国の皆様と共に、石田候補予定者のトップ当選を目指します。

日光小田代ヶ原写真集「淡彩」 撮影 浦井 勇

石田まさひろを 必ず国政に送ろう



発行者：栃木県看護連盟
〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15(社)栃木県看護協会研修センター内
TEL 028-610-1035
発行責任者：栃木県看護連盟会長 伊藤正子 印刷所：(株)井上総合印刷

INDEX

ご挨拶
伊藤正子／新任監事……………2
新任支部長（4名）……………3
平成24年度事業計画……………4
看護連盟総会報告……………6
日本看護連盟……………6
栃木県看護連盟……………7
石田まさひろ氏インプレッション……………7
石田まさひろ“しもつけの旅”……………8
平成24年度ポリナビワークショップIN栃木…9
石田まさひろ候補予定者来県スケジュール/編集後記…10

平成24年度8月現在

栃木県看護連盟会員数	連盟	6939名	
	協会	10368名	
	男性	女性	合計
保健師	9名	143名	152名
助産師	0名	247名	247名
看護師	410名	5751名	6161名
准看護師	27名	352名	379名
合計	446名	6493名	6939名

協会比 66.9% 賛助会員 173名

連盟会員募集中

会費7,000円(本部5,000円,県2,000円)/年(賛助会員1,000円/年)

「勝つ組織」 を作る！



栃木県看護連盟会長
伊藤 正子

今年も昨年を上回る猛暑続きで、人々の節電意識の向上からマンションのペランダやブランターに植えたゴーヤや朝顔が目立ちました。扇風機やうちわも品切れになるほどの売れ行きであったと聴きました。東日本大震災から一年半が経ちましたが、しかし、復興には未だ問題が山積し、被災者は慣れない仮設住宅でこの暑さと闘っていることを思いますと、普通の生活に早く戻れるように復興政策に拍車をかけて欲しいと願います。

石田まさひろ氏が看護職の代表に選ばれて早、9カ月が経ちました。栃木県でもホップ・通常総会後の政策集会・青年部研修会等に来ていただき約1,000名の看護職を前に、候補者としての責任と抱負を語っていただきました。石田氏は「看護職が定着するためにはまず労働環境を良くし、賃金を上げること。不足不足と言っても看護師は集まって来ない。退職した経験豊かな看護職を施設で採用し、適材適所に配置して、高齢患者や認知症患者の慰安や憩いのケアに役立ってほしい。…」などなど、幅広い経験と貴重な体験を積み重ねて来られたからこそ、新しい試みやアイデアが次々と生まれるのでしょうか。まさに代表として相応しい方と感動いたしました。いずれの集会も盛況に終わることが出来ました。有難うございました。

「組織活動を充実させ、勝つ組織を作り上げること」目標は7,500票以上

栃木県のこの目標を達成させるためには、私たちそれぞれが自分の持つ力を発揮すれば相当の成績を上げることが必ず出来ると信じています。知恵を絞り、力を合わせて石田さんのトップ当選をめざして一步一步近づけるように頑張りましょう。

日ごろの皆様のご協力とご支援に心から感謝申し上げますと共に、多くの皆様に連盟活動が理解され、さらにご支援頂けますよう、くれぐれも宜しくお願い申し上げます。

新任監事紹介

就任挨拶



自治医科大学附属病院
境野 博子

今年度、監事に就任しました。

今まで、施設内における研修会に参加し看護連盟の活動内容については、理解していました。しかし、積極的に連盟活動に参加していたとは言い難く、来年は参議員選挙の年であり、重要な時期にこのような重責を担うことに身の締まる思いです。

私たちの代表を国会に送り出し、看護師が働き続けられる環境を得るために、国民が時代や社会にあった看護を受けられるために、看護職全体が政治への関心を持てるように働きかけていくことが重要だと思えます。

ベッドサイドにいる私たちの声を政治に反映してもらえるように、石田まさひろ氏を上位当選させるために皆様とともに行動していきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくご指導をお願いします。

支部長に就任して



自治医科大学附属病院
篠原 和子

平成 24 年度から栃木県看護連盟自治医大支部長という大役に就任させていただきました。「石田まさひろ」さんを国会へ送るべく会員の士気を高め、投票に結びつく活動をしていかなければなりません。医療の中で看護が担っている役割を広く社会に認知してもらい評価を得るには、政治の力が必要です。そのことを、私たち自身が自覚する必要があると思います。

自分自身の若かった頃のことを思い返すと、看護連盟に入会はしていても、それがどういうことなのか深く考えていなかったような気がします。看護師として経験を重ねる中で、看護連盟総会への出席や研修会へ参加する機会が増え、連盟の役割が理解できてきました。

自治医大の若い 20 歳代の看護師が、来年の 7 月には「是非投票に行きたい」と思えるような研修を計画していきます。国会に看護職がいることで、自分たちの職業的評価を高め、労働環境改善などを審議するチャンスが増えていくことを知ってほしいと思っています。

日本の医療と私たちの未来を託す「石田まさひろ」さんを国会へ送り出すために、自治医大支部の頼りになる幹事たちと力を合わせ行動したいと思っています。会員が投票権を放棄することなく一票を投じてくることを目指しています。どうぞよろしくお願いたします。



佐野厚生総合病院
小林 順子

今年度より佐野支部の支部長として、支部役員の皆様の温かいご支援のもとスタート致しました。佐野支部は『佐野市民病院・佐野医師会病院・両毛病院・佐野医師会附属看護学校・佐野厚生総合病院』と 5 施設の集合体で連盟活動をしていきます。平成 24 年度、日本看護連盟通常総会後の候補者を応援する決起大会や、都道府県の総会並びに決起大会と石田まさひろ候補者のメッセージを聞かせて戴く毎に、支部長として大役であることを多大に実感しているところです。佐野支部は 5 施設の皆様と看護連盟活動を通して、近隣の医療機関連携情報や看護職能としての厳しさ等『つばやき連携』もはかれ、連盟活動でよりよい密着感があり、支部長個人としても、何よりの財産とにわかに微笑んでおります。早いですね、来年の熱き戦いがせまっております。石田まさひろ候補者の政策主張で『看護が豊かに行われる社会作りのために、私は政策に全力で取り組みます』と 4 つの政策を掲げております。臨床を知り得てるからこそ、ベッドサイドでケアする看護職能を支えて下さるのだと信じております。候補者の政治姿勢を各施設の連盟会員とその御家族、又御仲間たちに十分に心が伝わり、応援を戴き確実な数字が反映できるよう佐野支部長として活動致します。栃木県看護連盟の皆様にご指導いただき、目標達成に向けて前進していきたいと思っておりますので宜しくお願致します。



国際医療福祉大学病院
田口 春美

今年度、国際医療福祉大学支部長を拝命いたしました。平成 24 年 4 月より、初めて栃木県で勤務することになりました。地理的状况、文化等知る間もなく支部長の大役を仰せつかり、右往左往しております。

当支部は、大田原市にあります国際医療福祉大学およびリハビリテーションセンターと、那須塩原市にあります国際医療福祉大学病院、老人保健施設マロニエ苑で構成されています。さまざまな情報を、4 施設の会員にタイムリーに伝達する。また、会員の声を速やかにお届けできるように、努めたいと思っております。

看護専門職が社会的財産として認知され、誇りを持って働き続けられるようにと願っております。そのためにも、私たち現場の声を国政の場に届けていかなければなりません。微力ながらも、支部長としての役割を果たせるように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



とちの木病院
伊藤 明則

今まで連盟の施設連絡員をしておりましたがこの度、栃木支部の支部長をさせて頂くことになりました。どういった感じで選挙活動をすすめるのだろうか、私のようなもので大丈夫なのだろうか、という不安が現在もあります。

看護師という道を選び年を重ねるにつれて、経験は増えていきましたが生活や今後のことに対する不安は大きくなり、事あるごとに将来この仕事ではたして子供 3 人を無事成人させることができるのだろうかと常々考えてしまう自分がいました。先の震災により、家や家族を失った方からみたら、たいした問題ではないとは思いますが、でもこの仕事が好きで、これからもがんばるためには、大きな所から変わらなければならないと思います。そこで考えると、政治の力が必要だと思えます。誰かが変えて行かなければ私たちの職場や家族は守れません。患者さんを元気にするにはまず、私たちから元気ではないといけません。そのために私たちの代表を国政の場に出していくことが大切だと思えます。そう考えて、少しでもお手伝いができるようこれからがんばっていこうと思えます。よろしくお願いたします。

平成24年度事業計画

重点目標

組織活動を充実させる

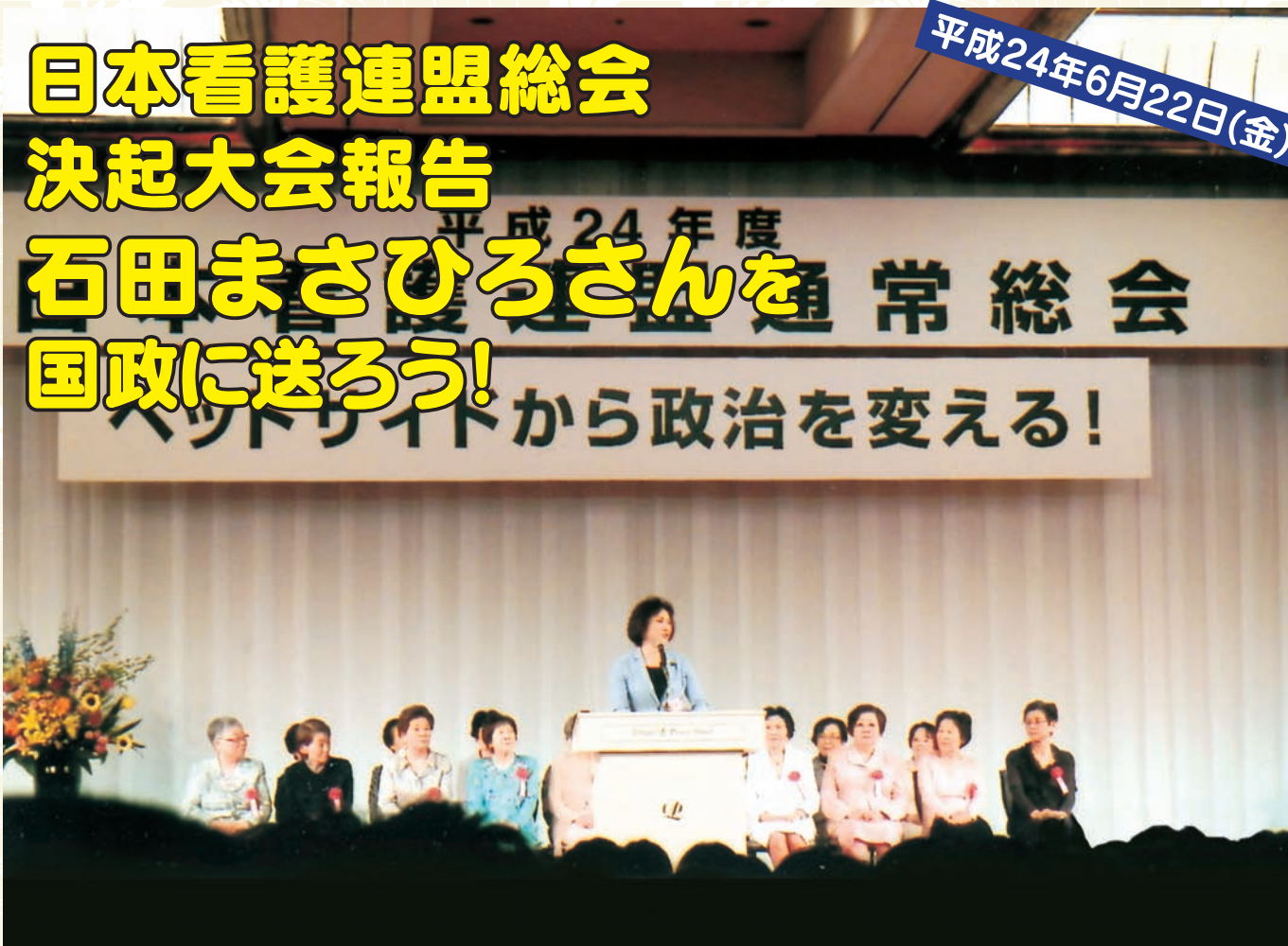
重点活動

- 1. 確かな政策実現力 看護現場の声を理解する議員を増やし、希望する政策を実現させる力
- 2. 強力な集票能力 現役10,000人の看護職に見合った集票力
- 3. 多くの人材提供力 選挙をできる人材を多数抱える力

項	目標	県	支部	活動	
I 政治力の強化	確かな政策の実現力	1. 看護政策に関する議論を活発に行える状況(環境)をつくる	○	○	1) 会員への情報提供をより効果的に行う 2) 情報収集・情報発信 3) 看護現場の課題を社会に伝える 4) 看護協会とともに陳情・要望活動を行う 5) 看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する 6) 現場の声を書面からホームページに変更し、国会・地方議員に伝える
		2. 継続して看護職の国会議員を確保する	○	○	1) 第23回参議院選挙に向けた活動を行う 2) 次期衆議院選挙に向けた体制を整備する 3) 関係団体との連携を強化する
		3. 国会への影響力を強める	○	○	1) 国会議員・県議会議員との勉強会を実施する 2) 看護問題対策議員連盟への対応を強化する 3) 国会議員・県議の主催する会合等へ出席する
	多くの人材提供力	1. 地方議会への影響力を強める	○	○	1) 栃木県に看護問題対策議員連盟を発足する 2) 看護職地方議員支援体制を強化する 3) 県看護連盟の政治力を強化する
		2. 中長期的視点に立ち、議員候補者を育成する	○	○	1) 人材育成コースに推薦する 2) 政治アカデミー卒業生を活用する
	II 組織の強化・拡大	強力な集票力を持つ	1. 主体的活動の促進	○	○
2. 支部組織の充実・強化			○	○	1) 支部活動を中心に会員を増やし、一人ひとりの活動を強化する 2) 支部の活動内容を明確にする 3) 支部役員・リーダーの人数を充実させる 4) 支部役員・リーダーの意識強化を図る 5) OB会の活動・充実をはかる
3. 看護管理者の意識を高める			○	○	1) 看護管理者トップセミナーへの参加
4. 若手会員の育成			○	○	1) 若手会員の主体的活動を充実・促進させる 2) 積極的に支部の役割に登用する 3) 青年部(ポリナビ)活動の充実
5. 看護連盟の理解者を増やす			○	○	1) 他団体及び地域住民との連携強化を進める
6. 学生会員の確保と育成			○	○	1) 学生会員に看護政策及びその実現の必要性について学ばせる

項	目 標	県	支部	活 動	
Ⅱ 組織の強化・拡大	自覚に基づき活動する会員を増やす	1. リーダーの養成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1) リーダーの自主性促進のためのセミナーを開催する
		2. 各選挙に積極的に参加・協力する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1) 役員・会員の選挙活動の経験を高める
		3. 研修の体系化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)基礎研修の実施 2)続・基礎研修の実施 3)リーダーセミナーの実施 4)新人支部長研修の実施 5)新人会長研修の実施 6)看護部長ワークショップの実施 7)看護教育者セミナー・看護管理者セミナーの実施 8)若手会員・一般会員・OB懇親会等の集会への参加
	活発な情報流通	1. 会員の声を政策提言に活用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)ホームページ・機関誌・機関紙に会員の声を掲載する 2)「現場の声」を国会議員や看護協会等の政策立案に役立たせる
		2. 会員及び非会員に対する広報活動を推進する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)機関誌・Weekly アンフィニ・連盟だよりを発行し、情報を提供する 2)ホームページを活用する 3)看護連盟に対する会員の理解を深める 4)政治・選挙に関する会員の理解を深め、行動する会員を育成する 5)看護職議員の活動を周知する
	Ⅲ 組織の適正な運営管理	1. 施設・支部・県・本部・協会の一連した組織活動を推進する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)県・支部相互の意見交換を行う <ul style="list-style-type: none"> ・総 会 年1回 ・支部長会 年6回以上 ・役員会 年3回以上 ・推薦委員会 年2回以上 ・広報委員会 年4回以上 ・合同会議・合同研修会 年1回 ・青年部実行委員会 年5回以上 ・OB会実行委員会 年3回以上 2)日本看護連盟との意見交換を行う <ul style="list-style-type: none"> ・本部総会 年1回 ・全国会長会 年3回 ・ブロック別会長会 年1回 ・県・支部別会議 年1回 ・都道府県別会議 年1回 ・全国協会長・連盟会長会議 年1回
2. 事務局の運営を適正に行う		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)会員を適正に管理する 2)財政を適正に管理する 3)職員を適正に管理する	
Ⅳ 会員の福祉	1. 慶弔への対応	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)規約に基き対応する	
	2. 諸問題への対応	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)専門家と相談の上、速やかに問題解決する	

平成24年6月22日(金)



日本看護連盟総会 決起大会報告 石田まさひろさんを 国政に送ろう!



日本看護連盟総会 決起大会に参加して

栃木県医師会塩原温泉病院
小野田 澄子

平成24年度の日本看護連盟通常総会で、来年7月参議院議員選挙の候補として石田まさひろ前連盟幹事長が賛成決議されました。1,722名の参加者、大歓声での決定でした。

開会式で清水嘉与子会長が「看護職が専門性を発揮できる職場環境の実現や、国民が安心して幸せな暮らしを支援する政策などの実現のためには、たかがい議員の他にもう一人参

議院議員がほしい。」と力強く述べられ、今年度のスローガンも「ベッドサイドから政治を変える!～看護職の代表を熱伝導で国政の場へ～」に可決されました。

いよいよ決起大会で石田まさひろさんがEXILEのRising Sunの曲をバックにさっそうと登場。清水会長から石田さんを紹介されました。50年以上続く連盟の歩みの中で男性を擁立するのは初めてですが、男性保健師第1号で衆議院公設議員秘書や日本看護協会政策企画室室長の経験者で適任であることを話されました。全国を回り「現場の声」を聞き視て考えたことなど熱く語られた石田まさひろさん。「看護の代表」はこの人しかいない、「看護界で初めての男性参議院議員の誕生!」も夢ではないと思いました。

当院は県北リハビリテーションの中核を担う病院で、患者さんの“その人らしさ”を取り戻し、在宅復帰を目標に多職種が連携し援助しています。リハビリ看護の専門性を発揮でき、少しでも多くの患者さんの笑顔を取り戻すことや看護職員も笑顔で生きいきと勤務できるような環境とするには問題が山積みです。しかし、決して諦めず「現場の声」として提案、現場を視ていただき政策に活かしてもらう代表として“看護界のヒーローを1番で誕生させる”必要があります。一人ひとりが熱伝導になることを誓い、組織団結を図りこれからの活動に力を入れていけば私達の夢は必ず実現します。どんな暗い闇の中でも明けない夜はないと信じて明るい未来のため支援し続けていきたいと思ひます。

栃木県看護連盟



今こそ集団の力を！

自治医科大学附属病院
飯田 久子

厚生労働省の統計からみると、就業している看護師数は、右肩上がりに増加しています。しかし、現場においては、人が増えて以前より余裕が持てたという実感はあまりありません。その理由としては、医療制度の変化や医療の高度化、複雑化、また高齢化に伴い、療養上の世話や診療の補助において、知識と技術のみならず、労力や時間がより必要とされている状況があるからだと感じています。看護師はよくまじめな集団だと言われます。個々に努力をして、自身の看護力を磨いています。しかし、働く環境に関しては、個人の努力

や組織単位の努力のみでは、解決できない問題が多重にあります。「ベッドサイドから政治を変える」自分たちの声が社会に届き、看護師の働く環境の改善により、看護師が生き生きと70歳すぎまで働くことができれば、看護が豊かに行われる社会が現実になると確信していますし、そんな社会になって欲しいと思います。私たちの声を社会に届けてくれる石田さんに、国政の場でご活躍いただけるよう誠心誠意応援していきたいと思います。



石田まさひろ氏インプレッション

石田まさひろ氏の政策研修会を終えての感想

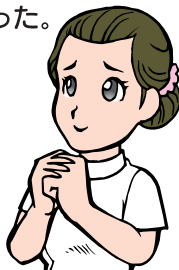
石田まさひろ氏の印象

- わかりやすく現場の声を聞いてもらえる。
- さわやか
- 明るくて元気
- 好印象
- 力強さ
- 良い男だった。
- まじめな人
- 感じのいい人
- たくましい



感想

- 話がわかりやすかった。
- 看護師の働き方のアイデアをもらった。
- 応援しやすい(EXILE良かった。)
- いい人 頑張って、投票します。
- 働くための話をもう少し聞きたかった。
- 看護の問題などの話から看護の力をもらった。
- わかりやすく、受け止めやすかった。
- 質問の回答もわかりやすかった。
- 看護師にはうけるが、一般の人にはどうか。
- いろいろと考えてくれているので感動した。
- マニフェストが分かりやすく、身近に感じた。



政策

- 学童保育の充実
- 外来看護師の定数一在宅支援への充実
- 男性看護師が自由に働けるように
- 男性看護師が意見を言えるように
- 男性看護師の地位向上
- 現実を改善する。
- 給与改善
- 夜勤対策を早急にしてほしい。



石田まさひろ “しもつけの旅”



御殿山病院



上都賀総合病院



済生会宇都宮病院



老健“かみつが”



自治医科大学附属病院



芳賀赤十字病院



宇都宮社会保険病院



獨協医科大学病院

平成24年度 ポリナビワークショップ in 栃木



■石田まさひろ氏講演
「看護の未来を創るために」

■窪田和巳氏講演
「若い看護職に向けて」▶



今年のポリナビワークショップは、平成24年5月21日にコンセールにおいて、開催されました。参加者は210名を数え大変盛況でありました。中でも本年は、講師として石田まさひろ氏を招き、生の政治と看護に関わる講演を聴くことができました。

看護職にとって宿命的になりつつある、長時間労働の問題をはじめ、数々の労働環境問題にどうすれば前向きに取り組んで行けるか。仕事をする上で参考になる話を聴くことができ、これから成長すべき若い看護職にとって啓蒙的な講演となったかと思われまます。



平成24年度ポリナビワー

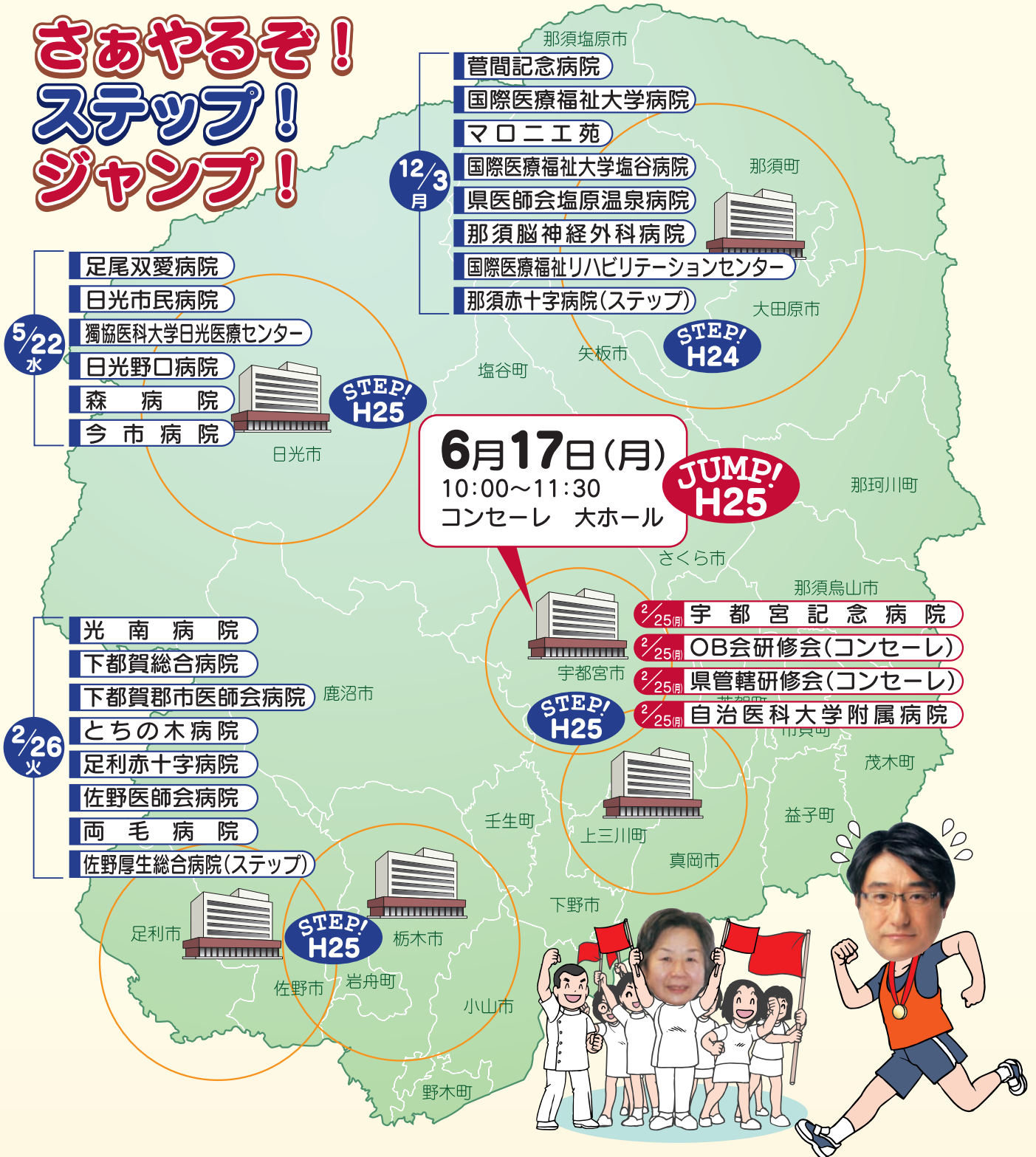


① 有休の消化ができていない
人手が足りない
ためモチベーションが
下がらない
※Nsの不足
② 仕事の環境がよいため
〇〇費ほどの特別は配装
と行う
③ Nsが辞めたいためにも
Nsのモチベーションが
上がるような作り



石田まさひろ候補予定者来県スケジュール

**さあやるぞ！
ステップ！
ジャンプ！**



編集後記

今回、栃木県看護連盟だよりでは、我々の代表となってくださる、石田まさひろ氏の特集を組みました。私達連盟会員がひとつになり、平成25年7月の参議院選挙に向けて、石田まさひろ氏の支援の輪を広げて行きましょう。(直井記)

みんなで参加しよう! 今後の活動予定

24年10月3日(水)
国会見学

25年1月15日(火)
青年部研修会 コンセーレ

25年2月4日(月)
連盟・協会合同研修
宇都宮東武ホテルグランデ

25年5月22日(水)
ポリナビワークショップ
コンセーレ